パワークローラトラクタ　取扱説明書

KT215-PC・KT235-PC・KT255-PC・KT285-PC

このたびはクボタ製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。この取扱説明書は，**パワークローラ仕様機**について，タイヤ仕様と特に異なる取扱い方法についてのみ説明してあります。その他の説明については，本編の**［取扱説明書］**をご覧ください。

パワークローラ仕様機について

このトラクタは，道路運送車両法の小型特殊自動車に該当します。

■ 小型特殊自動車取得の届出と標識（ナンバープレート）の取付け

新たに小型特殊自動車の所有者となった者は，市町村条例により，その取得したことを市町村役所に届けて，標識（ナンバープレート）の交付を受けなければなりません。
手続きは市町村により，多少異なりますので詳細は，購入先にご相談ください。

1. 小型特殊自動車を購入したときは，販売証明書など（購入先で発行）に，軽自動車税を添えて市町村役所に届出ます。
2. 届出が済むと標識（ナンバープレート）が交付されます。
3. 標識（ナンバープレート）は，車体の取付け位置に取付けてください。

補　足

＊ インプルメントを装着した状態では**［道路運送車両法の保安基準］**を満足しませんので，道路走行することはできません。
＊ 作業灯はフロントサイド作業灯を含め**［道路運送車両の保安基準］**第 42 条（灯火の色等の制限）において，**［走行中に使用しない灯火］**とされ，点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。

⚠ 安全に作業するために

本パワークローラトラクタは，タイヤ仕様と違いますので，必ずこの**［取扱説明書］**をよく読み理解した上で安全作業をしてください。

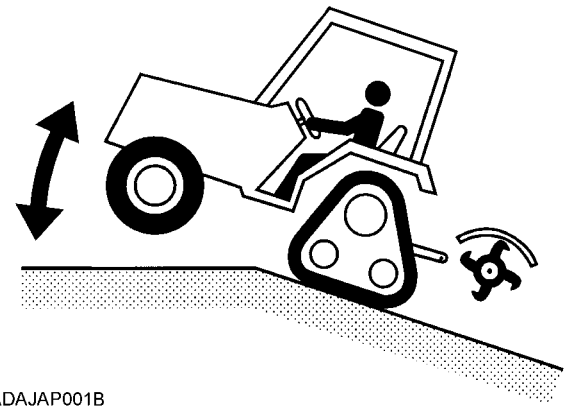
■ 運転時に

警　告

＊ 凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

注　意

＊ クローラ部が凸部を乗越えるときは，急に姿勢が変わりますので十分注意してください。



1AGADAJAP001B

1. 走行速度は，タイヤ仕様とは異なります。巻末の**［走行速度表］**を確認してください。
2. ほ場での旋回は速度を下げ，ハンドルとブレーキ（片ブレーキ）を併用してください。片側クローラをロックしての急旋回は，ほ場を荒らしますので切り返しでの旋回をお奨めします。

AQ. B. 6 - 9. 4. K　品番 T2350-8487-2

補　足

＊ パワクロは直進性に優れる分，旋回半径は大きくなります。ほ場での作業中は，必要に応じ旋回する側のブレーキを操作すれば，小さい旋回半径で旋回できます。

重　要

＊ プラウ作業など片側のクローラを溝に落として行なう作業の場合は，クローラの張りを確認してください。また段差から無理に出ようとしないでください。
＊ 溝引きプラウ作業ではクローラが完全に溝から上がった状態で旋回してください。
片側のクローラが溝に落ちた状態で旋回すると、ゴムクローラが外れる可能性があります。
＊ あぜごえはあぜに対して垂直方向に走行し，途中で旋回しないでください。ゴムクローラが外れるおそれがあります。
＊ 道路走行でカーブを曲がったり，右左折する場合は速度を落してください。
クローラは直進性が優れるために，曲がりきれなくなる場合があります。
＊ 標準パワクロ（PC2）にて，うねや排水溝があるほ場を耕うんする場合は，うねの上を走行しながら耕うんしてください。溝を走行すると，クローラを傷める場合があります。

補　足

＊ 長距離の移動の際には，前輪タイヤ及びゴムクローラの早期摩耗防止のためにトラックやトレーラに積んで輸送することをお奨めします。
＊ クローラ部分に土がたまらないよう，定期的に清掃してください。
固まった土が遊輪，転輪のシールをいためる可能性があります。

■ あゆみ板使用時に

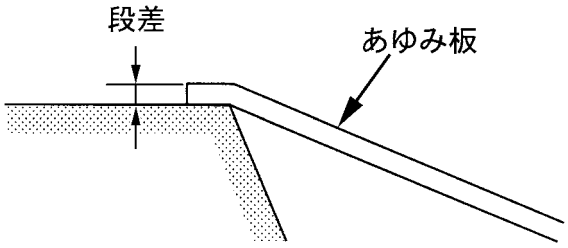
注　意

＊ あゆみ板は左右の先端をそろえ，前後にずれないように確実に固定してください。
＊ あゆみ板とあゆみ板をかけた面との段差が大きい場合，運転には特に注意してください。
＊ 途中で変速すると危険ですので，あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて低速で運転してください。
＊ あゆみ板は，十分な強度・幅・長さ（傾斜が15度以下になる長さ：トラックの荷台高さ，あるいはほ場乗入れ部高さの4倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し，パワクロの重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。

■ ほ場への出入り

注　意

＊ クローラの片側だけが段差に引っかかり乗りあがらない状態になった場合，いったん車両を元に戻し，あゆみ板をかけ直してはじめからやり直してください。

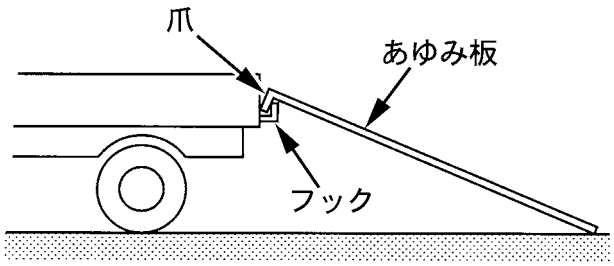


1AGACBUAP002A

■ トラックへの積み・降ろし

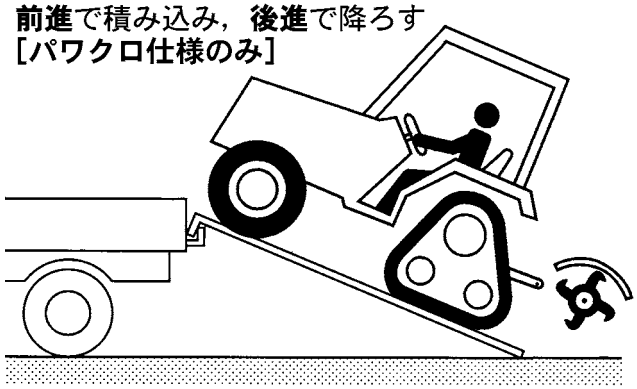
注　意

＊ トラックは荷台後部にあゆみ板の爪を掛けるフックが付いたものを使用してください。
＊ トラックへの積み・降ろしは，必ず左右のブレーキペダルを［連結］し，［前進］で積み込み，［後進］で降ろしてください。前進で降りると，クローラがあゆみ板の段差ですべり，前輪が浮いて車体が旋回し，転倒事故につながるおそれがあります。



1AGACBUAP003A

前進で積み込み，**後進**で降ろす
［パワクロ仕様のみ］



1AGACBUAP004A

■ 表示ラベルと貼付け位置

本編の**［取扱説明書］**の**［表示ラベルと貼付け位置］**の項に掲載されている「T2350-9821-0（ラベル（4WD，ケイコク））」はパワクロ仕様には採用されていません。

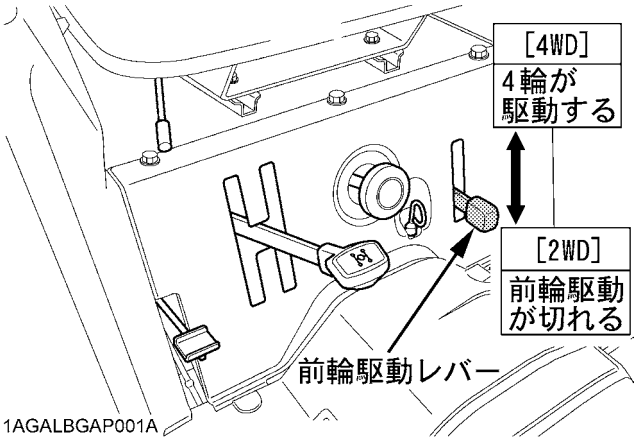
走行装置の取扱い

■前輪駆動レバー

前輪駆動を断続するレバーで，クラッチペダルを踏込み操作します。

重　要

＊ 前輪駆動レバーは，**［4WD］**か**［2WD］**位置にしてください。中間の位置で運転すると故障の原因になります。



1AGALBGAP001A

◆ 前輪駆動の使いかた

注　意

＊ 前輪駆動を入れたままで，ほ場以外を走行すると危険です。走行前に必ず前輪駆動レバーを［2WD］にしてください。

前輪駆動は，次のような場合にお使いください。
1. 一般的な耕うん作業を行なう場合。
2. 傾斜地，湿田などけん引力を必要とする場合。
3. 砂地で作業をする場合。
4. かたいほ場で，耕うん時の飛出しを防止する場合。

重　要

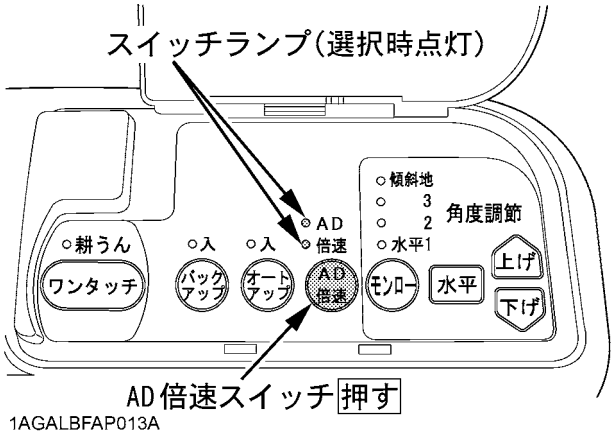
＊ 舗装道路や高速走行時の前輪駆動は避けてください。タイヤの摩耗を早めます。

■ AD 倍速スイッチ

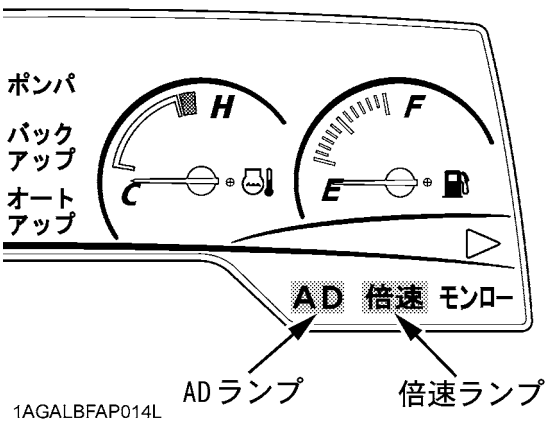
前輪駆動レバーが**【4WD】**選択時のみ AD 倍速・倍速が作動します。
ランプが点灯しない場合は，前輪駆動レバーを**【4WD】**位置にしてください。

スイッチを押すごとに
[切⇒倍速⇒ AD 倍速［U 倍速］⇒切]
の順に切換わります。
選択状態はモニタランプで表示されます。
なおスイッチは，クラッチ操作や走行・停止中に関係なく操作できます。

	モニタランプ
倍速	倍速ランプが点灯し，旋回時に倍速ターンが作動します。
AD 倍速［U 倍速］	AD ランプと倍速ランプが点灯し，旋回時に倍速ターンが作動すると同時に，AD（オートディスクブレーキ）も作動します。
切	ランプが消灯し，AD 倍速 / 倍速が切になります。



1AGALBFAP013A



1AGALBFAP014L

補　足

＊ 倍速は，危険防止のため，旋回開始時の車速が約 5km/h 以下のときのみ作動します。
＊ AD 倍速は，危険防止のため，旋回開始時の車速が約 3.6km/h 以下のときのみ作動します。

◆ 倍速ターン／ AD 倍速ターンの使い方

警　告

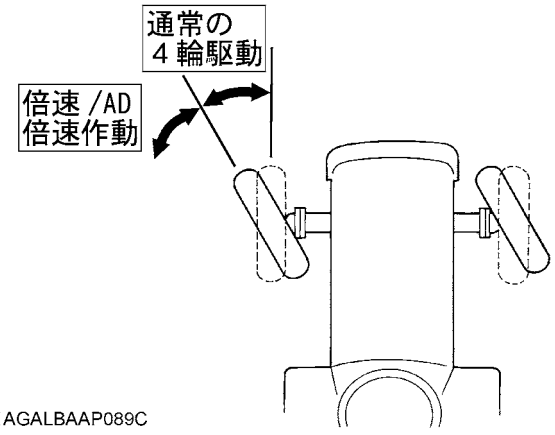
＊ 倍速や AD 倍速に入れたままでは，ほ場以外を走行しないでください。ほ場から出る前に AD 倍速スイッチでモードを［切］に切換えてください。
＊ 倍速や AD 倍速は，畑，水田などの作業機の作業に役立ちますが，使用法を誤ると転倒などのおそれや故障の原因にもなります。

倍速ターンの使い方

倍速の作動は次のようになっています。
【倍速】モードで旋回動作に入り，ステアリングハンドルを切っていくと，前輪の切れ角が，直進状態からある一定の角度になるまでは，通常の４輪駆動の回転数で前輪が駆動されます。更にステアリングハンドルを切ると，倍速が作動し，前輪の回転数がそれまでの約２倍の回転数で駆動され，小さくスムーズな旋回が行なえます。

AD 倍速ターンの使い方

隣接耕うん作業をする場合に，枕地で軽く片ブレーキを踏み，旋回半径を小さくする操作が行なわれますが，AD 倍速はこの操作を自動的に行なうものです。
AD 倍速の作動は次のようになっています。
【AD 倍速】モードで旋回動作に入り，ステアリングハンドルを切って前輪の切れ角がある一定の角度以上になると，AD が作動し，内側後輪に軽くブレーキがかかるとともに，倍速が作動し，前輪の回転数がそれまでの約２倍の回転数で駆動され，小さくスムーズな旋回が行なえます。



1AGALBAAP089C

重　要

＊ フロントローダを装着した場合は，使用しないでください。

補　足

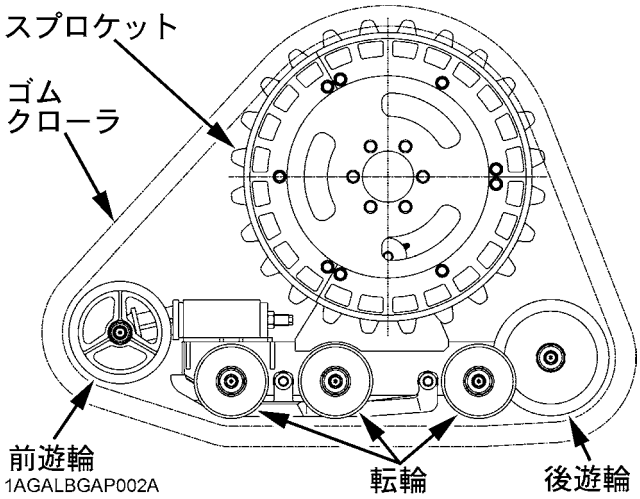
＊ 軟弱なほ場では倍速を切ってください。
＊ 片ブレーキをさらに効かせたいときは，旋回内側のブレーキペダルを踏込んでください。

日常点検

メンテナンスを行なうことで，パワクロ機の寿命アップと当用期のトラブルを未然に防ぐことができます。下表に従ってメンテナンスを実施してください。

■日常点検箇所一覧

点検箇所	点検内容
転輪 遊輪 スプロケット	● 草の巻付き，石のかみこみ，泥詰りはありませんか。 ● 極端な摩耗，偏摩耗はしていませんか。
ゴムクローラ	● クローラに大きな損傷はありませんか。 ● クローラの張りは適正ですか。
各部の ボルト・ナット	● 緩みはありませんか。



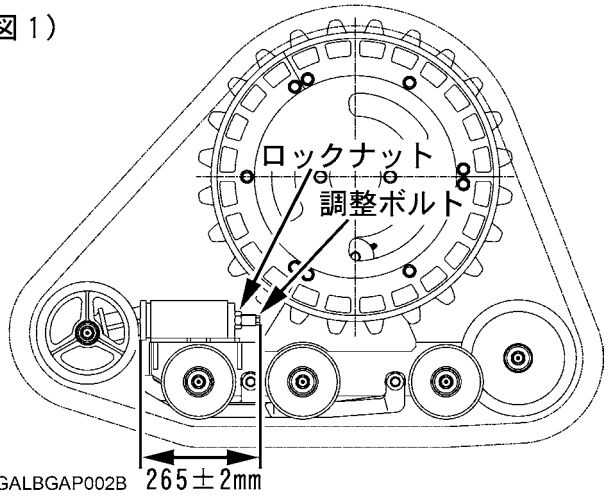
1AGALBGAP002A

保守管理

■ゴムクローラの張り調整

1. ゴムクローラを張りすぎた状態で使用すると，遊輪の摩耗，軸の変形のおそれがあります。
   又，ゴムクローラが緩んだままで使用すると，走行中にクローラが外れるおそれがありますので，定期的に点検を行なってください。
2. ゴムクローラの張り調整は，図１に示す寸法が 265 ± 2㎜ になるように，調整ボルトにて行なってください。調整後は確実にロックナットで固定してください。（図１参照）

（図 1）

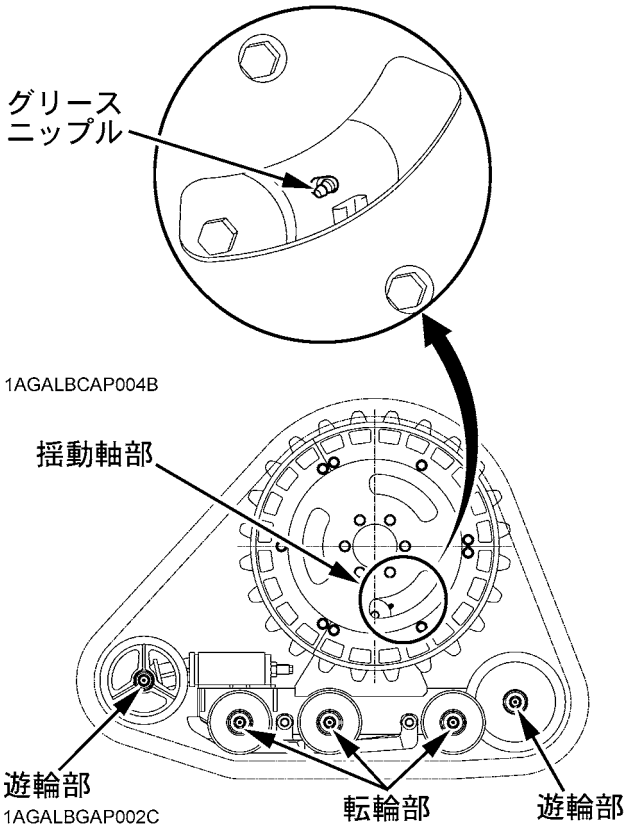


■グリースアップ

30 時間使用ごと及び，１シーズン終了後に次の箇所にグリースアップを実施してください。（図２参照）
グリースの注入は，パイプとフレームあるいはパイプとザガネのすきまからグリースが出るまで行なってください。

1. 揺動軸
2. 転輪・遊輪

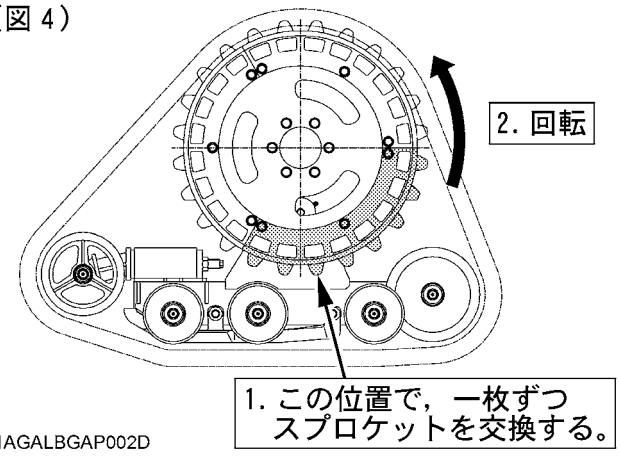
（図２）



■スプロケットの交換

スプロケットは３枚で構成されています。

（図 4）

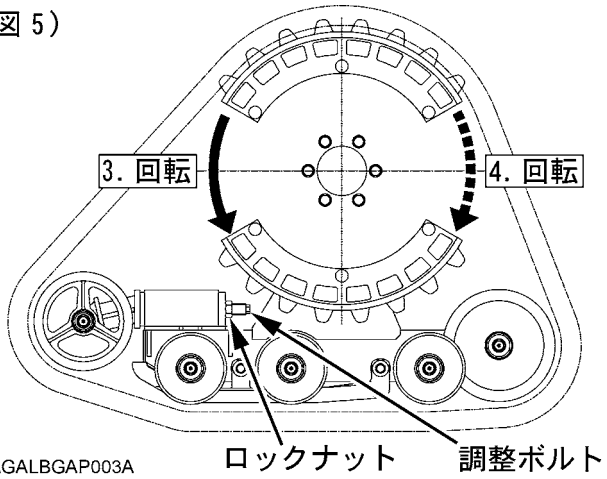


1. まず■部で示した下側のスプロケットを新しいスプロケットに交換します。
2. 次に車軸をゆっくり回転させ，順次下側に来たスプロケットを新しいものに交換して行きます。（図４参照）
3. ３枚のスプロケットを交換した後，ゴムクローラの張り調整を行なってください。

■ゴムクローラの交換

1. ロックナットを緩め，調整ボルトを回転させ，クローラの張りを緩めます。
2. 図４の▒▒部で示した下側のスプロケットから順次２枚のスプロケットを外します。
3. 一枚のスプロケットを残したまま図５に示す位置まで車軸をゆっくり回転させ，古いゴムクローラを外します。

（図 5）



4. 新しいゴムクローラに置き換えた後，車軸を回転させ，スプロケットにゴムクローラを掛けます。
5. 外した２枚のスプロケットを取付けた後，最後にゴムクローラの張り調整を行なってください。（調整方法は**［ゴムクローラの張り調整］**の項を参照）

主要諸元

■トラクタの主要諸元

型式名				KT215-PC	KT215F-PC	KT235-PC	KT235F-PC
駆動方式				半装軌式（パワクロ）			
機体寸法	全長		mm	2860［2845］			
	全幅		mm	1375			
	全高		mm	1970［2020］			
	軸距		mm	1500			
	輪距	前輪	mm	1050			
		クローラ	mm	1032〈1022〉			
	最低地上高		mm	380			
	質量(重量)		kg	1145［1260］	1165［1280］	1145［1260］	1165［1280］
エンジン	機関型式			クボタ D1503-M-E3-KT1		クボタ D1503-M-E3-KT2	
	型式			水冷 4 サイクル 3 気筒立形ディーゼル			
	総排気量		L	1.499			
	出力/回転速度		kW(PS)/rpm	15.4/2500 (21/2500)		16.9/2500 (23/2500)	
	使用燃料			ディーゼル軽油			
	燃料タンク容量		L	28			
	始動方式			セルモータ式（グロープラグ式）			
	バッテリ			75D26R			
前輪タイヤ				7-16			
クローラ	パターン			片ハシゴ，ハイラグ，幅狭			
	接地長		mm	925			
	幅		mm	330〈200〉			
	接地面積		cm^2	6105〈3700〉			
	接地圧		kPa/cm^2 (kgf/cm^2)	11.2 (0.114) 〈18.5 (0.189)〉	11.5 (0.117) 〈18.8 (0.192)〉	11.2 (0.114) 〈18.5 (0.189)〉	11.5 (0.117) 〈18.8 (0.192)〉
	緩衝方式			揺動式［± 9°］			
車体	クラッチ方式			乾式単板			
	制動装置			一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）			
	かじ取り方式			ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）			
	差動方式			2 ピニオンかさ歯車式（デフロック付）			
	変速方式			選択かみ合い式	グライドシフト (HST 仕様)	選択かみ合い式	グライドシフト (HST 仕様)
変速段数（段）				前進 12 後進 12	副変速　3段 主変速前進 16 主変速後進 10	前進 12 後進 12	副変速　3段 主変速前進 16 主変速後進 10
走行速度			km/h	前進	0.32 ～ 14.18	0 ～ 14.16	0.32 ～ 14.18	0 ～ 14.16
				後進	0.29 ～ 11.78	0 ～ 10.09	0.29 ～ 11.78	0 ～ 10.09
最小旋回半径 （ブレーキ使用時）			m	2.1			
PTO	回転速度/ エンジン回転速度		rpm	正転	505,731,1136/2500	471,682,1061/2500	505,731,1136/2500	471,682,1061/2500
				逆転	615/2500	574/2500	615/2500	574/2500
	軸寸法		mm	JIS 35			
作業機昇降装置	制御方式			ポジションコントロール			
	装着方式			三点リンク　JIS1 形			

［ ］は安全キャブ仕様，〈 〉は PC3 仕様
1. 接地長は前側遊輪と後側遊輪の中心間距離とする。　2. 後輪距はゴムクローラ中心間距離とする。
3. 接地圧はロータリなし後車軸荷重／ゴムクローラ幅×接地長× 2 とする。
4. 揺動角度は車体に対する揺動角度とする。(車体の左側から見て時計回り方向を＋，反時計回り方向を－)
※この主要諸元，製品形態は改良のため予告なく変更することがあります。
※ PC1: 片ハシゴ，PC2: ハイラグ，PC3: 幅狭

型式名			KT255-PC	KT255F-PC	KT285-PC	KT285F-PC
駆動方式			半装軌式（パワクロ）			
機体寸法	全長	mm	2860［2845］		2890［2860］	
	全幅	mm	1375			
	全高	mm	1970［2020］			
	軸距	mm	1500			
	輪距 前輪	mm	1050			
	輪距 クローラ	mm	1032〈1022〉			
	最低地上高	mm	380			
	質量(重量)	kg	1145［1260］	1165［1280］	1160［1270］	1180［1290］
エンジン	機関型式		クボタ D1503-M-E3-KT3		クボタ D1703-M-E3-KT1	
	型式		水冷 4 サイクル 3 気筒立形ディーゼル			
	総排気量	L	1.499		1.647	
	出力/回転速度	kW(PS)/rpm	18.4/2600 (25/2600)		20.6/2600 (28/2600)	
	使用燃料		ディーゼル軽油			
	燃料タンク容量	L	28			
	始動方式		セルモータ式（グロープラグ式）			
	バッテリ		75D26R			
前輪タイヤ			7-16			
クローラ	パターン		片ハシゴ，ハイラグ，幅狭			
	接地長	mm	925			
	幅	mm	330〈200〉			
	接地面積	cm^2	6105〈3700〉			
	接地圧	kPa/cm^2 (kgf/cm^2)	11.2 (0.114) 〈18.5 (0.189)〉	11.5 (0.117) 〈18.8 (0.192)〉	11.2 (0.114) 〈18.5 (0.189)〉	11.5 (0.117) 〈18.8 (0.192)〉
	緩衝方式		揺動式［± 9°］			
車体	クラッチ方式		乾式単板			
	制動装置		一系統左右独立（連結装置付），湿式ディスクブレーキ（機械式）			
	かじ取り方式		ボールスクリュ式（インテグラルパワーステアリング）			
	差動方式		2 ピニオンかさ歯車式（デフロック付）			
	変速方式		選択かみ合い式	グライドシフト (HST 仕様)	選択かみ合い式	グライドシフト (HST 仕様)
変速段数（段）			前進 12 後進 12	副変速　3段 主変速前進 16 主変速後進 10	前進 12 後進 12	副変速　3段 主変速前進 16 主変速後進 10
走行速度		km/h 前進	0.33 ～ 14.71	0 ～ 14.68	0.33 ～ 14.71	0 ～ 14.68
		後進	0.30 ～ 12.25	0 ～ 10.50	0.30 ～ 12.25	0 ～ 10.50
最小旋回半径（ブレーキ使用時）		m	2.1			
PTO	回転速度/エンジン回転速度 rpm	正転	525,760,1182/2600	490,709,1103/2600	525,760,1182/2600	490,709,1103/2600
		逆転	640/2600	597/2600	640/2500	597/2600
	軸寸法	mm	JIS 35			
作業機昇降装置	制御方式		ポジションコントロール			
	装着方式		三点リンク　JIS1 形			

［ ］は安全キャブ仕様，〈 〉は PC3 仕様
1. 接地長は前側遊輪と後側遊輪の中心間距離とする。　2. 後輪距はゴムクローラ中心間距離とする。
3. 接地圧はロータリなし後車軸荷重／ゴムクローラ幅×接地長× 2 とする。
4. 揺動角度は車体に対する揺動角度とする。(車体の左側から見て時計回り方向を＋，反時計回り方向を－)
※この主要諸元，製品形態は改良のため予告なく変更することがあります。
※ PC1: 片ハシゴ，PC2: ハイラグ，PC3: 幅狭

■走行速度表（クローラ装着時）

◆ マニュアルシフト仕様

(km/h)

副変速レバー	主変速レバー	KT215-PC		KT235-PC		KT255-PC		KT285-PC	
		前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
超低速	1	0.32	0.29	0.32	0.29	0.33	0.30	0.33	0.30
	2	0.47	0.42	0.47	0.42	0.49	0.44	0.49	0.44
	3	0.64	0.57	0.64	0.57	0.66	0.59	0.66	0.59
低	1	0.87	0.78	0.87	0.78	0.91	0.82	0.91	0.82
	2	1.28	1.15	1.28	1.15	1.33	1.19	1.33	1.19
	3	1.73	1.55	1.73	1.55	1.80	1.62	1.80	1.62
中	1	2.38	2.13	2.38	2.13	2.47	2.22	2.47	2.22
	2	3.48	3.12	3.48	3.12	3.62	3.25	3.62	3.25
	3	4.71	4.22	4.71	4.22	4.90	4.39	4.90	4.39
高	1	6.63	5.95	6.63	5.95	6.90	6.19	6.90	6.19
	2	9.70	8.70	9.70	8.70	10.09	9.05	10.09	9.05
	3	13.13	11.78	13.13	11.78	13.66	12.25	13.66	12.25

◆ グライドシフト (F) 仕様

(km/h)

副変速レバー	KT215F-PC		KT235F-PC		KT255F-PC		KT285F-PC	
	前進	後進	前進	後進	前進	後進	前進	後進
低	0 ～ 2.28	0 ～ 1.76	0 ～ 2.28	0 ～ 1.76	0 ～ 2.38	0 ～ 1.83	0 ～ 2.38	0 ～ 1.83
中	0 ～ 5.68	0 ～ 4.37	0 ～ 5.68	0 ～ 4.37	0 ～ 5.90	0 ～ 4.55	0 ～ 5.90	0 ～ 4.55
高	0 ～ 13.11	0 ～ 10.09	0 ～ 13.11	0 ～ 10.09	0 ～ 13.63	0 ～ 10.50	0 ～ 13.63	0 ～ 10.50

アタッチメント一覧表（純正アタッチメントを使いましょう）

分類	品　番	品　　名	用途･仕様	併用アタッチメント	適　応　型　式			
					KT215-PC	KT235-PC	KT255-PC	KT285-PC
その他	99823-75000	延長ヒッチアッシ			○	○	○	○

インプルメント一覧表（純正インプルメントを使いましょう）

注　意

＊ トラクタ後部用作業機を装着したとき，かじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20％以上になるようにバランスウエイトを装着し，使用してください。
＊ 装着可能な最大ウエイトを装着してもかじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20％以上を確保できない作業機は装着しないで下さい。
＊ フロントローダを使用するときは，安定性を高めるためトラクタ後部に作業機や適切なウエイトを装備してください。（詳細は購入先にご相談ください。）

品　番	品　名	適　応　型　式					
		KT215		KT235・255		KT285	
		PC1・2	PC3	PC1・2	PC3	PC1・2	PC3
7A314-02014	RL145T		○		○		
7A314-00014	RL145T-B		○		○		
7A314-02024	RL145T-V		○		○		
7A314-00024	RL145T-VB		○		○		
7A314-02044	RL145T-SC		○		○		
7A314-00044	RL145T-SCB		○		○		
7A314-02054	RL145T-SCV		○		○		
7A314-00054	RL145T-SCVB		○		○		
7A314-04014	RL145T-Y		○		○		
7A314-03014	RL145T-YB		○		○		
7A314-04044	RL145T-SCY		○		○		
7A315-02014	RL155T	○	○	○	○	○	○
7A315-00014	RL155T-B	○	○	○	○	○	○
7A315-02024	RL155T-V	○	○	○	○	○	○
7A315-00024	RL155T-VB	○	○	○	○	○	○
7A315-02044	RL155T-SC	○	○	○	○	○	○
7A315-00044	RL155T-SCB	○	○	○	○	○	○
7A315-02054	RL155T-SCV	○	○	○	○	○	○
7A315-00054	RL155T-SCVB	○	○	○	○	○	○
7A315-04014	RL155T-Y	○	○	○	○	○	○
7A315-03014	RL155T-YB	○	○	○	○	○	○
7A315-04024	RL155T-VY	○	○	○	○	○	○
7A315-03024	RL155T-VYB	○	○	○	○	○	○
7A315-04044	RL155T-SCY	○	○	○	○	○	○

品　番	品　名	適　応　型　式					
		KT215		KT235・255		KT285	
		PC1・2	PC3	PC1・2	PC3	PC1・2	PC3
7A315-03044	RL155T-SCYB	○	○	○	○	○	○
7A315-04054	RL155T-SCVY	○	○	○	○	○	○
7A315-03054	RL155T-SCVYB	○	○	○	○	○	○
7A385-00014	R155T-B	○	○	○	○	○	○
7A385-00024	R155T-VB	○	○	○	○	○	○
7A316-02014	RL165T	○	○	○	○	○	○
7A316-00014	RL165T-B	○	○	○	○	○	○
7A316-02024	RL165T-V	○	○	○	○	○	○
7A316-00024	RL165T-VB	○	○	○	○	○	○
7A316-02044	RL165T-SC	○	○	○	○	○	○
7A316-00044	RL165T-SCB	○	○	○	○	○	○
7A316-02054	RL165T-SCV	○	○	○	○	○	○
7A316-00054	RL165T-SCVB	○	○	○	○	○	○
7A316-04014	RL165T-Y	○	○	○	○	○	○
7A316-04024	RL165T-VY	○	○	○	○	○	○
7A316-04044	RL165T-SCY	○	○	○	○	○	○
7A317-02014	RL175T			○	○	○	○
7A317-00014	RL175T-B			○	○	○	○
7A317-02024	TL175T-V			○	○	○	○
7A317-02044	RL175T-SC			○	○	○	○
7A317-00044	RL175T-SCB			○	○	○	○
7A317-02054	RL175T-SCV			○	○	○	○
L2153-00000	RL185T（スタンド仕様）					○	○
L2153-40000	RL185T-C（キャスタ仕様）					○	○

補　足

RL：サイドドライブ
R：センタドライブ
B：後２輪仕様
C：キャスタ仕様
V：Vカットカバー付
Y：手元開閉式延長カバー仕様
SC：マッドレスカバー